

SIGMA

[No.106]
2025.3.25



手術支援ロボット Da Vinci Xi 始動

— 手術支援ロボット「ダヴィンチ」の魅力 —

1. 低侵襲性

キズが非常に小さくて済み
身体への負担が少ない

2. 正確性

拡大視野、手振補正、多関節など
より正確な手術ができ、根治性がUP

3. 機能性

正確な手術ができるので
機能温存手術が可能

7月1日開院の新病院から開始される ロボット手術について



がん診療センター副センター長
泌尿器科部長

村田 明弘

当院では、泌尿器科の手術に最新のロボット支援手術を導入します。ロボット手術は狭い骨盤腔内でも高精細な視野の元に高精度な操作が可能で、傷口が小さく、出血や痛みの軽減、早期回復が期待できます。以前は開腹にて前立腺全摘術を施行していましたが、新病院開院後はロボットを用い、患者さんの負担を最小限に抑える治療を提供いたします。詳しくは、医師、スタッフまでお問い合わせください。



消化器疾患センター長
消化器外科主任部長

園田 寛道

ロボット手術は、より鮮明な画像が得られることや手術器具を人間の手のように自在に操作できることから、従来の腹腔鏡手術よりさらに精緻な手術が可能です。特に狭い骨盤内で繊細な手術操作が求められる直腸がん手術は非常に難易度の高い手術ですが、ロボット手術を活用することで、肛門機能、排尿機能、性機能の温存と根治性の両立が実現できます。これまで大学病院などで40例以上のロボット手術に携わってきた私の経験を、杉並地域の皆さまに還元していきたいと考えています。

当院におけるロボット手術の適応疾患

【泌尿器科】

前立腺がん

【消化器外科】

大腸がん（直腸がん、結腸がん）

患者さんのご紹介はこちら

河北総合病院 入退院・地域情報センター 地域医療連携課

03-3339-2152 (直通)

月～金 9:00～17:00 / 土 9:00～11:00 ※祝日休

泌尿器科の
詳細はこちら



消化器外科の
詳細はこちら

